



# 株式会社ビーイング 決算説明会

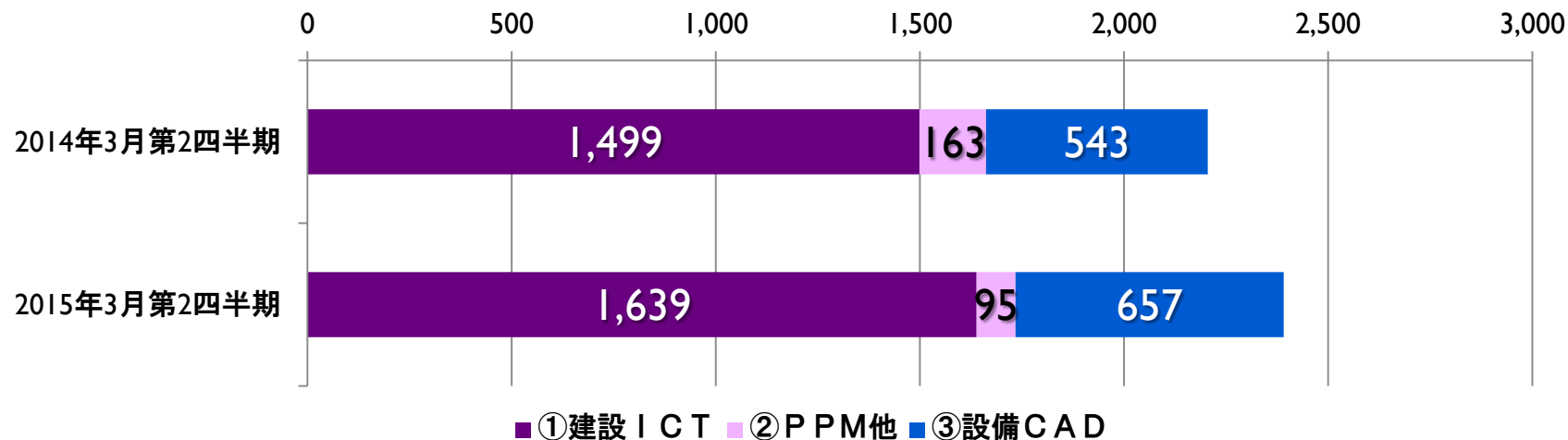
2014年12月4日

**BEING**

# グループの事業概要

会社	セグメント	事業	主な商品
ビーイング (三重県津市)	建設関連	①建設ICTソリューション	土木工事積算システム 情報共有システム 見積、原価管理システムなど
		②PPMソリューション他	工程管理システム 太陽光一括見積りなど
プラスバイプラス (大阪市淀川区)	設備関連	③設備CADソリューション	電気設備CAD 水道設備CADなど
Being Myanmar (ミャンマー 連邦共和国)	非連結	ソフトウェアの受託開発	

## 事業別売上構成 (単位：百万円)



# 各事業の位置付け

国内事業者

ニッチ市場で高いシェアを獲得することで、  
高付加価値型のビジネスを追及しています。

製造業  
など

② PPMソリューション他

設備業

③ 設備CADソリューション

土木  
建設業

① 建設ICTソリューション

コア・ビジネス

成長分野





将来投資

海外企業

## 2015年3月期 第2四半期（累計）決算の概要

- ✓ 売上高8%増収、営業利益30%増益
- ✓ 第2四半期連結累計期間として、売上高、営業利益とも過去最高を更新
- ✓ 売上高営業利益率は、目標とする15%にせまる

（単位：百万円）

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	前期比
売上高	1,756	2,205	 2,391	8.4%増
営業利益	75	259	 338	30.3%増
売上高 営業利益率	4.3%	11.8%	14.1%	—
経常利益	81	265	 342	28.7%増
当期純利益	169	169	 395	133.5%増
1株当たり 当期純利益	6.31円	21.51円	50.25円	+28.74円

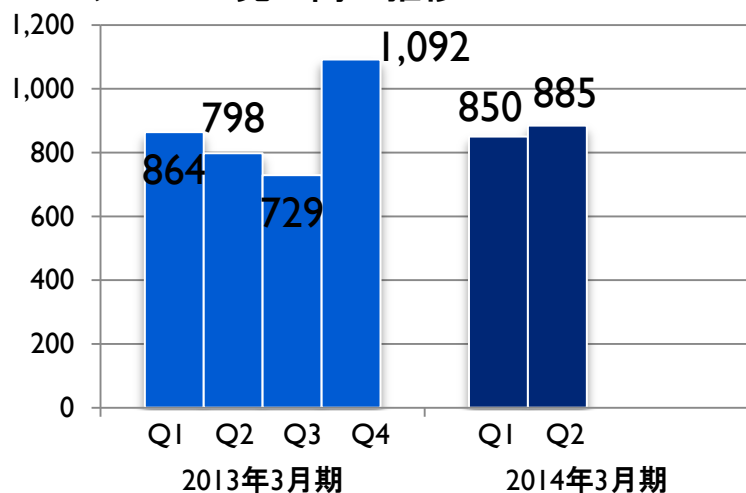
## 建設関連セグメントの概要

- ✓ 期初は駆け込み需要の反動減があったものの、第2四半期累計期間では増収に転じています
- ✓ 増収を着実に増益につなげています

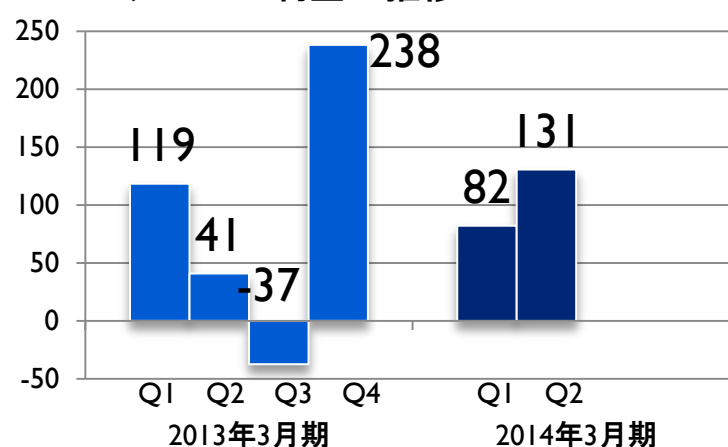
(単位：百万円)

第2四半期累計期間	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	1,342	1,662	1,734	4.4%増
セグメント利益	21	159	212	33.5%増

■セグメント売上高の推移



■セグメント利益の推移



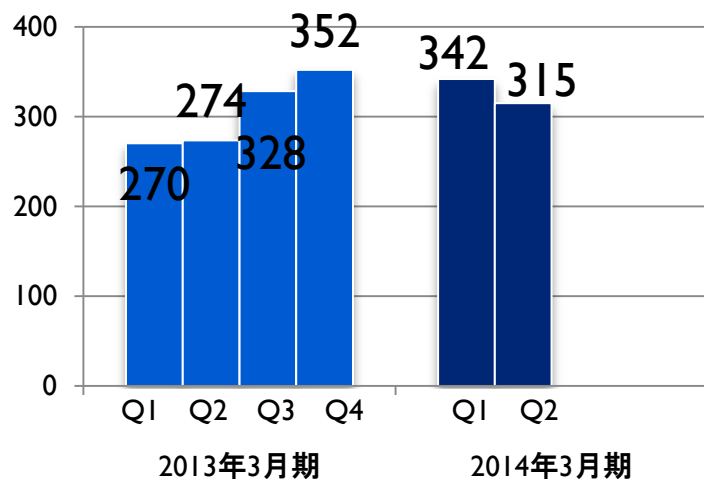
## 設備関連セグメントの概要

- ✓ 引き続き、20%を超える高い成長率を維持しています
- ✓ コスト増（主に人件費）により、利益成長は、やや鈍化しました

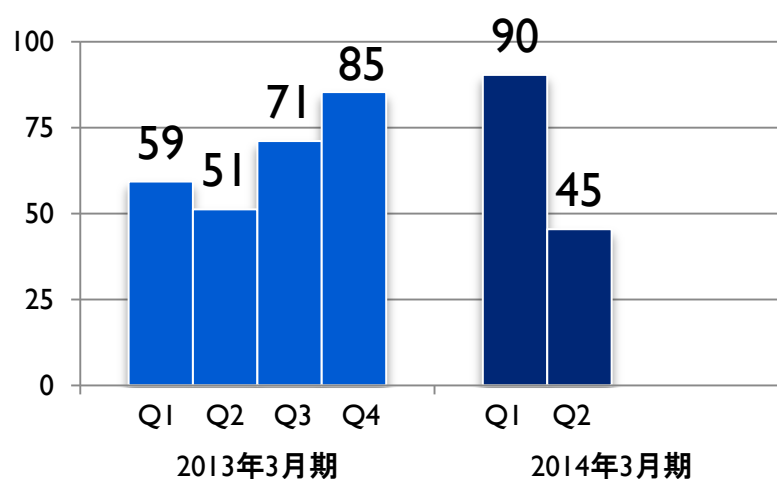
（単位：百万円）

第2四半期累計期間	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	前期比
売上高	413	543	657	20.8%増
セグメント利益	64	110	135	22.9%増

■セグメント売上高の推移




■セグメント利益の推移



## 2015年3月期 業績予想について

- ✓ 真水での過去最高売上高の更新に向け、ほぼ計画通りに進捗しています
- ✓ 税効果利益の計上にともない、当期純利益のみ上方修正しました

(単位：百万円)

	2015年3月期 予想	2014年3月期 実績	前期比	進捗率
売上高	5,000	4,707	6.2%増	47.8%
営業利益	620	606	2.2%増	54.5%
売上高 営業利益率	12.4%	12.9%	—	—
経常利益	640	616	3.8%増	53.5%
当期純利益	 580	422	37.2%増	68.1%
1株当たり 当期純利益	73.75円	53.73円	+20.02円	—

# 要約貸借対照表・要約キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

	2014年3月期	2014年9月期	前期比
流動資産	4,600	4,267	△333
固定資産	1,198	1,421	+223
有形固定資産	238	232	△5
無形固定資産	394	337	△56
投資その他の資産	566	851	+284
資産合計	5,799	5,688	△110
流動負債	1,778	1,361	△417
固定負債	1,514	1,541	+26
株主資本	2,501	2,778	+276
その他包括利益 累計額	3	6	+2
負債純資産合計	5,799	5,688	△110

(単位：百万円)

	2013年9月期	2014年9月期	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	462	537	+74
投資活動による キャッシュ・フロー	△81	△78	+3
財務活動による キャッシュ・フロー	△39	△118	△78

■前期末に両建てとなっていた有価証券取引に係る未決済勘定243百万円（未収入金、未払金）が解消しております。

■税効果会計上の会社区分の見直しを行ったことに伴い、繰延税金資産を追加計上しております。



# 土木建設業の市場環境

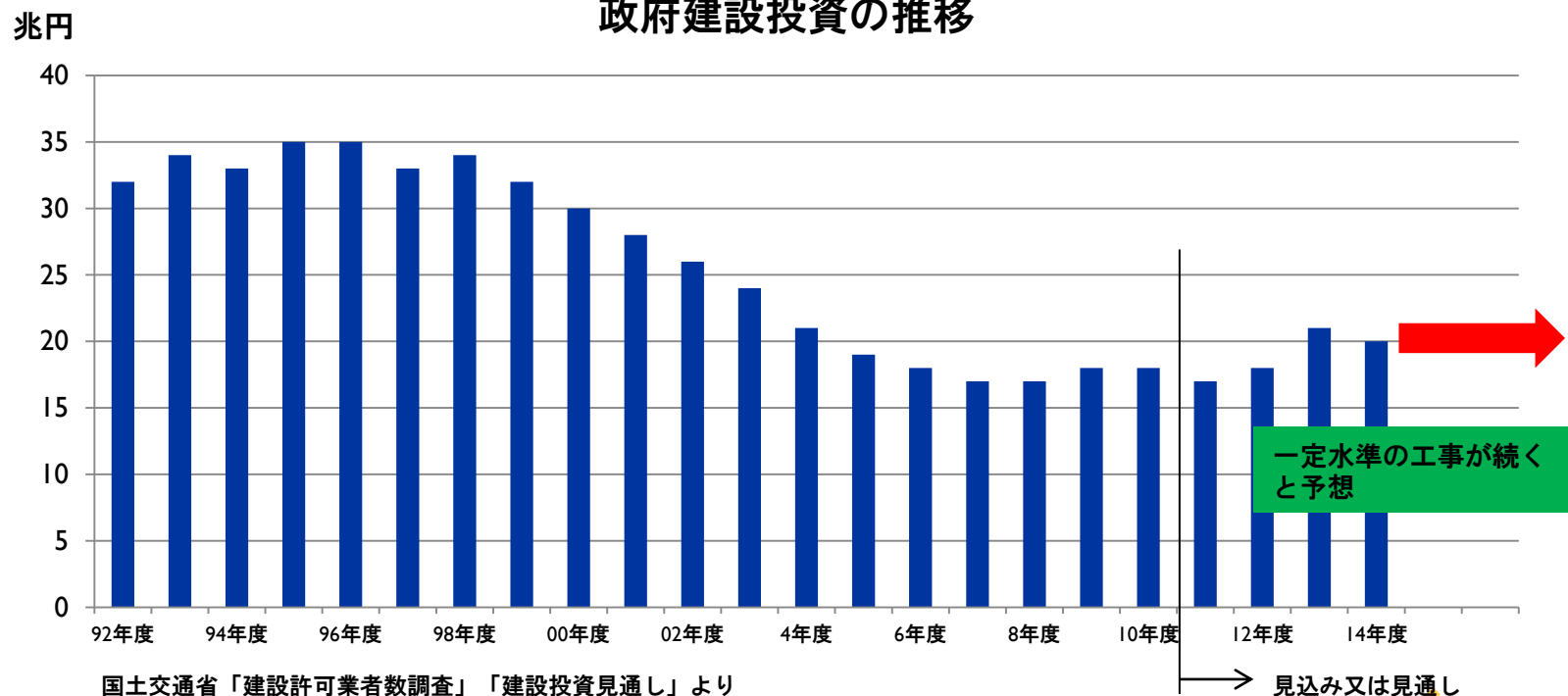
公共工事は、

- 震災からの復興・復旧工事
- 大規模災害時の、防災・減災対策
- 老朽インフラの維持・更新投資

などの要因から、財政面における制約はあるものの、今後長期にわたって一定水準の工事がおこなわれるとみています。

また、東京オリンピックやリニア新幹線の着工なども、建設業界にとって、追い風となります。

## 政府建設投資の推移



## ①建設ICTソリューションの現況

# Gaia9

土木工事積算ソフトのトップ・ブランドとして、1万社超に導入。ゼネコンから大手層に強く、完工高10億円以上の土木業者では40%超のシェアを確保。

✓ゼネコン～大手層の積算ニーズを確実に取り込み、追加商談が拡大

✓地域の積算事情をきめ細かく調査し、商品に反映させる  
「ローカライズ戦略」が奏功

一方で、開発物量の増大やサポート・センターの混雑などの課題も発生

開発に関しては、ミャンマー子会社を早期に立ち上げることで、対応する予定

✓発注者サイドの市場動向を注視

# ①建設 ICTソリューションの現況

見積・実行予算システム

## BeingBudget

積算データから、容易に実行予算書を作成、原価管理までのデータ連携を実現



- ✓ 高いシェアを持つガイアからデータ連携するシステムとして、ゼネコン各社の自社開発システムの**リプレイス需要**を取り込み
- ✓ パッケージをベースに、各社の既存システムに合わせてカスタマイズ
- ✓ カスタマイズ機能をあらかじめ部品化することで、採算を保ちつつ多様な要望に対応
- ✓ ゼネコンの海外展開に対応した**多通貨機能**が好評

# ①建設ICTソリューションの現況

## BeingCollaboration<sup>®</sup>

発注者と受注者間をオンラインで結びスムーズな工事情報の共有を実現  
共有データは、そのまま電子納品



国土交通省以外の省庁、発注者も導入に向けた動きが広がる

- ・国土交通省が直轄工事すべてで導入
- ・農林水産省も実証実験を開始する見通し
- ・都市再生機構（UR）も試験運用の見通し



市場はさらに拡大



他社に先駆けて国土交通省情報共有基準案Rev4.0に対応



発注者は無償で利用という、いびつな状況ではあるが、当面シェアを優先

発注者

受注者



協力会社

資材業者

レンタル業者

## ②設備CADソリューションの現況



plusCAD電気

電気設備用CAD・見積連動ソフト



plusCAD水道

水道工事用CAD・見積連動ソフト



水道業者、電気業者向けに非常に簡便な操作性を実現した専門CAD



新規顧客の途切れない市場性



昨年下半年からリプレイス販売を開始したことで、大きな成果に

引き続き、新規販売とリプレイス商談の比率をコントロール

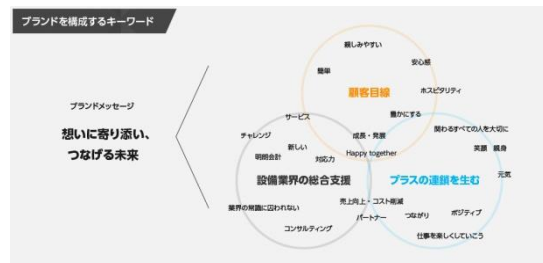


plusCAD機械など、セット販売により商談単価の向上



成長分野として、積極的に人員増強

アイデンティティを継承しつつ、さらなる成長を支えるために、  
人事制度改革やブランディングにも取り組む



### ③ PPMソリューション他の現況



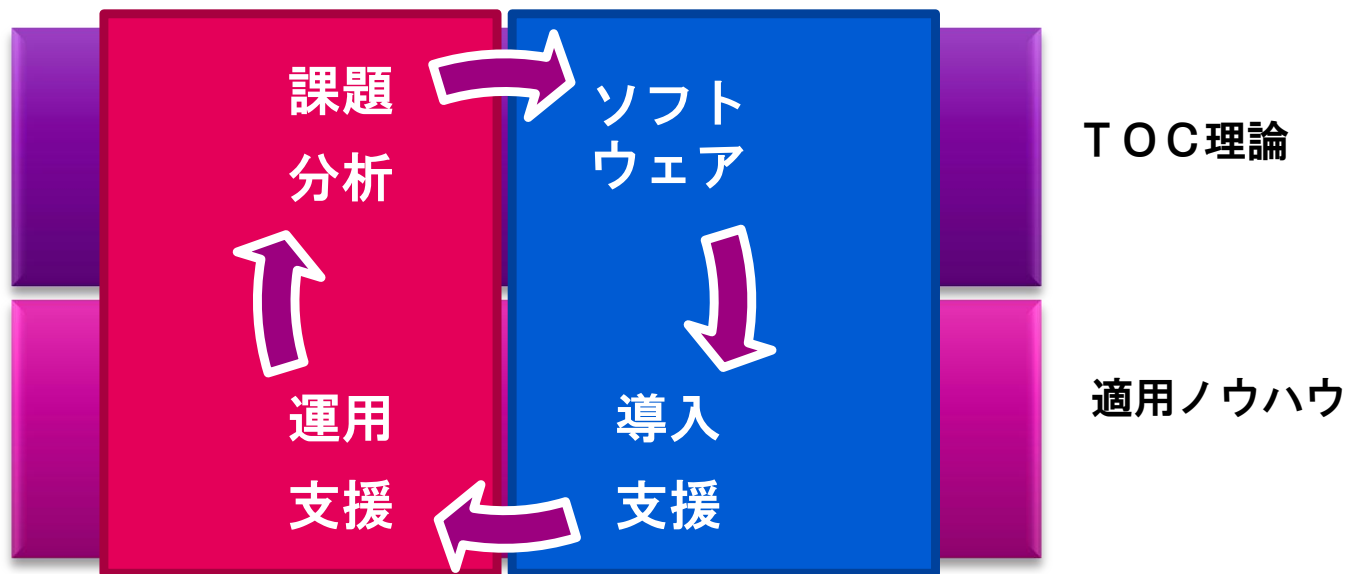
TOC-CCPMに特化したプロジェクト・ポート  
フォリオマネジメント（PPM）ソフトウェア



営業戦略を大胆に変革中

コンサルティング領域

ソフトウェア領域



Bosch社、横展開が進行



SCM分野のベンチャー企業に出資

## その他のトピックス

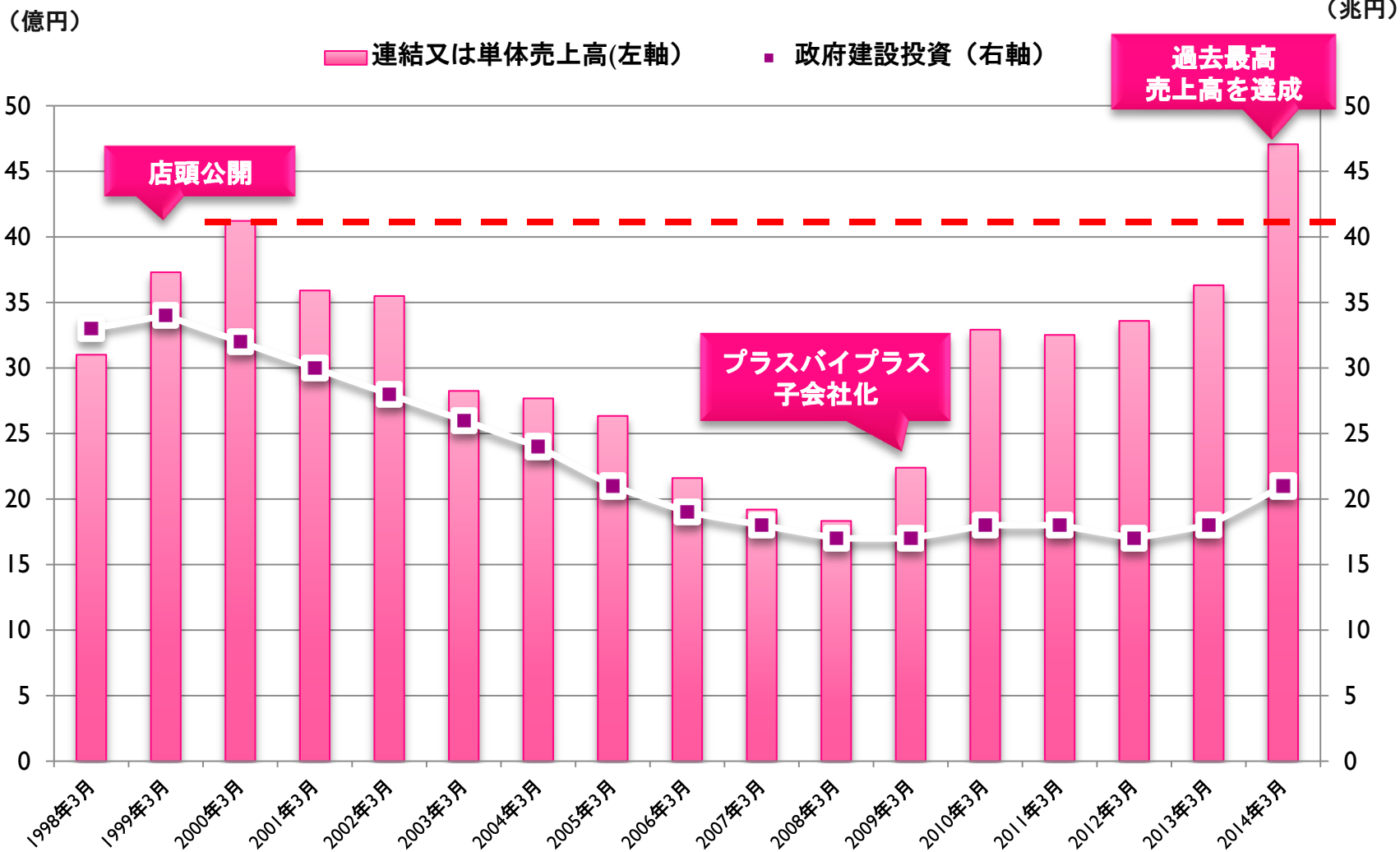
- ✓ 太陽光一括見積りサイト運営事業の「のれん」全額（37百万円）を減損
- ✓ 税効果利益を追加計上  
税効果会計上の会社区分を4から3に引き上げ
- ✓ 主力商品が、  
**「生産性向上設備投資促進税制」**における  
先端設備（ソフトウェア）に認定



## 參考資料



# 売上高の推移



2000年問題  
ITバブル

ITバブル  
崩壊

リーマン  
ショック

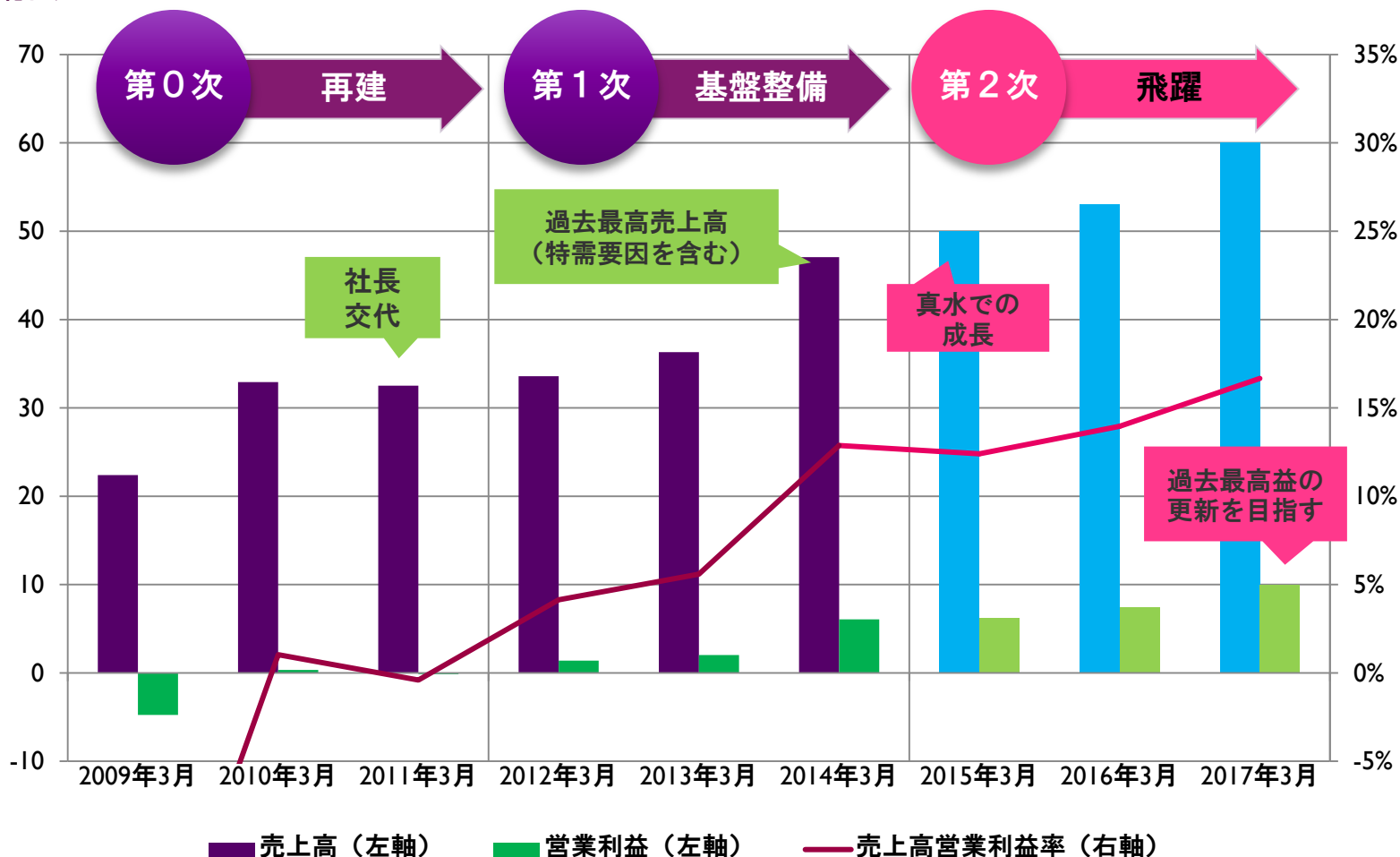
東日本  
大震災

XPサポ  
ート終了

# 3 年計画の位置付け

前3カ年で築いた基盤をもとに2015年からは「飛躍」の3カ年とし、最高益※の実現を目指す。

(単位：億円)



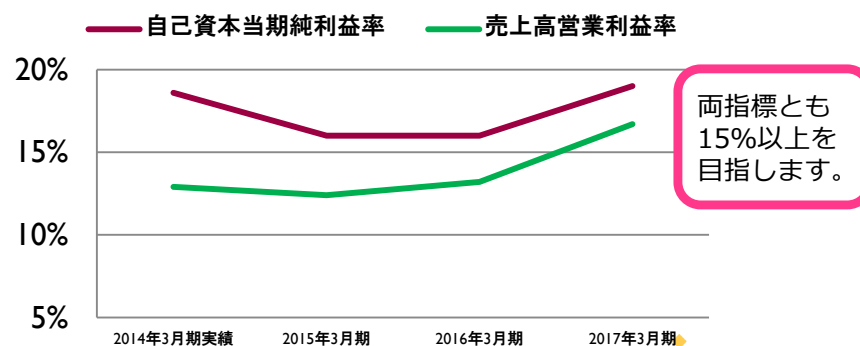
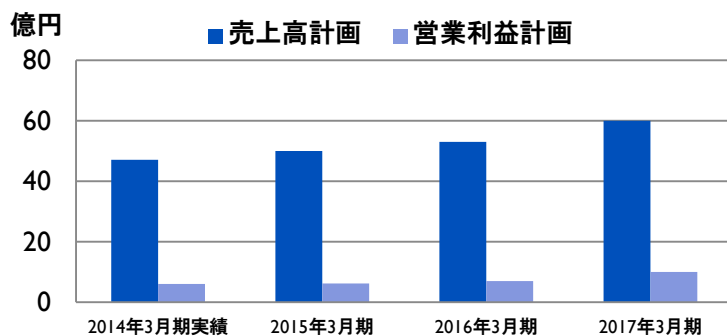
※これまでの最高営業利益は、99年3月期の単独決算で計上した971百万円です。

Copyright(c) Being Co., LTD. All Rights Reserved.

# 中期経営計画 数値目標

(単位：百万円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	2016年3月期 計画	2017年3月期 計画	対2014年3月 増減率
売上高	4,707	5,000	5,300	6,000	27.4%
営業利益	606	620	700	1,000	65.0%
売上高 営業利益率	12.9%	12.4%	13.2%	16.7%	—
経常利益	616	640	720	1,020	65.4%
当期純利益	422	430	470	660	56.2%
自己資本 当期純利益率	18.6%	16.0%	16.0%	19.0%	—



## 配当に対する考え方

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと位置付けており、業績に応じた配当を行う「業績連動」型の配当方針を採用しております。

具体的には、グループの年間業績に応じた配当を行うために、年1回の期末配当を基本とし、将来の事業展開を勘案しつつ、税金等調整前当期純利益の20%~30%を目安として配当を行う方針であります。

## 単元株式数の変更について

平成26年7月1日より、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

投資家の皆様にとって、より投資しやすい環境を整備し、当社株式の流動性の向上および投資家層の一層の拡大を図ってまいります。

## 30周年を迎えました



おかげさまで、創業から30周年を迎えることができました。

「感謝・感恩・報恩」の企業理念のもと、より多くのお客様に、より幅広く貢献すべく、これからも前進を続けてまいります。

## 土木積算とは

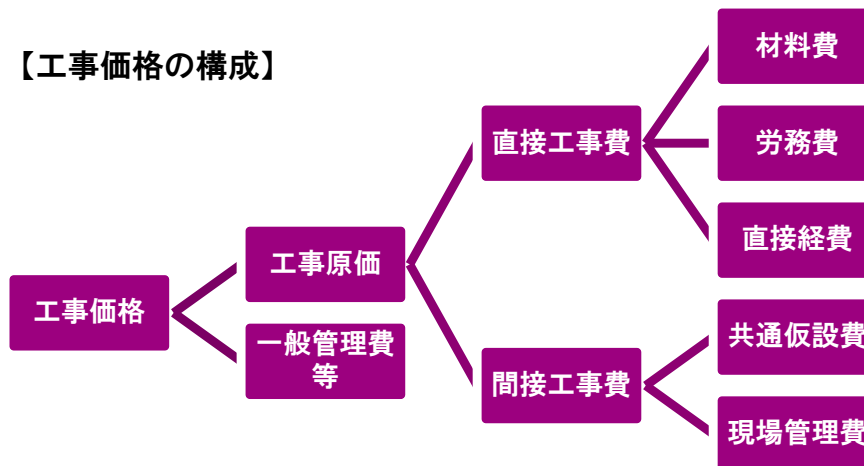
土木工事のほとんどは、官公庁や現在は民営化された旧公団が発注者となるいわゆる公共工事です。そのため、施工業者の選定にあたっては「入札」が行われます。

入札にあたり、発注者は、工事に必要となる部材や作業単価と、独自に作成した歩掛りに基づいて工事価格を算出（これを「積算」という。）します。工事価格から官公庁の事務経費を除いた金額が予定価格とされ、入札の際の上限価格となります。また、工事価格から一定の割合を控除した金額を最低価格とし、入札においてこの範囲内で最も低い価格※を提示した業者が落札者となります。

したがって、工事を獲得しようとする建設業者にとっては、発注者が積算した予定価格を推計することが工事獲得の第一歩となります。

※総合評価落札方式の下では、過去の実績など価格以外の要素も考慮されるため、必ずしも最低価格を入れた業者が落札するとは限りません。

【工事価格の構成】



## 積算基準

積算は、非常に複雑な業務です。

- 発注する官公庁ごとに異なる積算基準が公表されており、それぞれの基準に合致した計算が求められます。
- 使用する部材単価は、工事を行う地域によって単価が異なる上に、ほぼ毎月改定が行われます。
- 工種と呼ばれる作業のまとめりごとに、作業内容や現場の性質に応じた単価や歩掛りが細かく区分されており、一つ一つ適切な単価と歩掛りを組み合わせる必要があります。
- 一定の工種のまとめりごとに、間接工事費を計算する必要があり、工種内の計算を修正した場合、間接工事費にも影響が及びます。

工事全体の積算は、これら膨大な組み合わせの結果として成り立っており、その計算には非常に大きな手間が必要となります。

## 本資料に関するご注意

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。

様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日ご説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

—本資料に関するお問合せ先—  
株式会社ビーイング 管理本部 IR担当  
TEL：059-227-2932  
FAX：059-227-2907